

2018年度 放課後等デイサービス事業者の自己評価表 ひかり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		・高学年が多いと狭く感じられることがあるので活動内容を考えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		・指定基準は満たしているが、日によって送迎要員が足りない場合があるので、調整している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		・在籍している利用者に合わせて環境整備をしている。
業務 改善	4	事業所の設備等について、P D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	2	4		・個別支援記録を残すことで、振り返ることができているので、その後の支援目標につながられてきている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3		・保護者様からの意見、ご意向を聞きその都度改善につなげられるよう努力している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2		・事業所のホームページで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3		・ひかりに関わっている、ダンス・英語・サッカーなどの外部講師の方にも評価を行ってもらい改善につなげていきた
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・研修には積極的に参加し、伝達研修を行うことで日々の支援に役立てている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5	1		・10月からの個別支援計画は、本人にも話を聞き計画の説明を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		・個別支援記録を担当制にすることで職員全員が支援計画を意識して関わるができるようになってきている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		・2,3人のチームで立案し、内容に幅が出るようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	4	2		・運動、製作、ことば、集団あそび、ゲームあそび他、様々な活動を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		・長期休暇に関しては、休暇前にそのとき必要な課題を話し合い、その課題が達成できるよう時間をとって関わるができるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	6			・レクリエーションは集団で行うが、個別に対応が必要な場合は、職員が側に寄り添うなど、計画に反映させている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・朝礼のなかで、レクの打ち合わせ、送迎の確認などを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			朝礼のなかで前日の振り返りを行っている

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につながっているか	6			・日々、個別支援記録を書くことで支援の検証をし、次の支援につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・現在は6ヶ月に1度モニタリングを行っている。保護者様からの要望や、こちらから必要と判断した場合には、その都度面談を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		6		・利用者の状態に合わせて、様々な活動を組み合わせさせて行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	5	1		・事業所・学校・保護者など各関係機関が集まり会議を開催している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			・必要な場合は、送迎時のほかに学校、幼稚園等を訪問したり電話を利用して、情報の共有を図っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		6		・現在医療ケアが必要な子どもの利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		・各施設を訪問し、そこでの様子を見せてもらうとともに、ひかりでの様子を伝えている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		・学校や相談支援事業所を通して支援内容等の情報を共有できる体制をとっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		・専門機関から研修の案内などをいただき積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもたちと活動する機会があるか		2	4	・現在実施できていないので、長期休暇などを利用して交流する機会を検討している。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		3	3	参加できていないので、今後検討していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	5		1	・送迎時に報告したり、連絡ノート、電話等を利用し共通理解が図れるようにしている。
保護者への	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	3	・保護者様に対しては、行うことができていないのが現状なので、研修を開催するなど対応力の向上につながる活動をしていきたいと考えている。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5	1		・利用負担額等は、契約時に説明させていただいている。 ・支援内容については、個別支援計画の見直しの時期に作成後、説明させていただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		・保護者様からの相談にはその都度対応し、悩みを聞くなどしている。そのなかで、ひかりで取組めることについては、支援計画に反映させたり、日々の支援につなげている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	・父母の会の活動や、保護者会は現在開催していない。今後は親子レクなども計画していく予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ丁寧に対応しているか	4	2		・苦情処理に関しては、極力迅速に対応するよう努めている。現場職員の伝え忘れなどのミスがあり、保護者様にはご迷惑をかけている現状はあるが、その都度迅速に対応している。

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・月に1回「ひかりだより」を発行している。そのなかで、レクの様子を写真載せたり、連絡事項を発信するようにして
	35	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報には十分注意させていただいている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	3	3		・意思の疎通が難しい場合には、絵カードや、ホワイトボードへのタイムスケジュールの提示など情報伝達ができるよ
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		1	5	・現在は地域住民を招待するような行事は行っていないが、町内会に加入したことで、町内活動に参加できるよう検討し
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		4	2	・各マニュアルは策定されているが、保護者様に対し周知できていないのが現状。今後、周知できるような体制を作っ
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・現在、二ヶ月に一回程度避難訓練を実施している。来年度より様々な災害を想定し、月一回避難訓練を行う予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか	4	2		・外部研修に参加し、職員全体に伝達研修を行うことで、職員の研修機会を作っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	4	2		・現在、身体拘束を行う必要性の子どもの利用はありません。必要になった場合には個別支援計画に記載する他、ご本人、保護者様に対し説明をします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4	2	・食物アレルギーを持っているお子さんに関しては、保護者様へのアセスメントのときに確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		・事例があった際には、記録し職員会議の中で報告、検討し共有している。